

平成 20 年度 学校経営方針

(1) 学校経営の基調

教育基本法をはじめ教育関係諸法規が示すところに従い、平成 20 年度宮崎県及び児湯教育事務所・木城町の教育基本方針に則り「宮崎の教育創造プラン」宮崎ならではの教育の具現化を目指し、本校の地域性や児童の実態を踏まえ人間性豊かな、知・徳・体の調和のとれた児童の育成に努める。

児童は、学校、地域にとってかけがえのない大切な宝である。

学校の主役は児童である。児童を中心に学校経営を行う。

学校は児童の命を預かり、育て、生きる力を育むところである。

学校運営は、全職員で組織的に行う。自分のなすべき仕事の具体的な計画と責任をもって職務に当たる。報告・連絡・相談を確実に行う。

児童一人一人の「伸ばしたいところ」「改善したいところ」について共通理解を図り、意図的に計画的・継続的な指導に努める。

ア 児童を真に愛し、児童の夢や希望が実現できるように支援する。

イ 綿密な計画と意欲的な実践が信頼性を生み、児童が育つ。

へき地としての特性を生かし、創意ある教育計画の立案・実施・評価に努め、児童一人一人に応じたきめ細かな教育を推進する。

山村留学について、地域と協力し、山村留学の継続的運営に協力する。

(2) 学校経営の基本方針

学校経営の効率化を図る。

ア 学校の組織体としての運営は、教師一人一人の特性を生かした運営組織をつくり、計画・実践・評価をとおして教育活動の充実を図る。

研修の充実を図り専門職としての力量を高める。

ア 現職教育の充実と推進を図る。

イ 主題研究を中心に授業力の向上を図る。

学習指導の充実を図る。

ア 学習内容の確実な定着のための指導方法の工夫改善と評価を実践する。

イ 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と問題解決的な力の育成を図る。

ウ 一人一人の子どものもつよさや可能性を積極的に伸ばす。

エ 多様な学習活動と体験的な活動の積極的な導入を図る。

心の教育の推進を図る。

ア 生き生きと楽しく活動できる場を設ける。

イ 体験的な活動をとおして「生命尊重」や「思いやり」等の感性を豊かにする。

ウ あいさつ運動を推進して豊かな人間関係を築く。

エ 緑と花のある環境の中で豊かな心を育てる。

地域との連携を強化し、特色ある学校を創る。

ア 地域にふれ、地域のよさを学び、ふるさとを愛する心を育てる。

- イ 地域素材、人材の積極的導入と地域社会に開かれた学校を目指す。
家庭との連携を図る。実親、里親、児童のいないPTA会員との連携を推進する。
- ア 家庭教育学級の活動は、地域の特性を取り入れて推進する。
- イ 参観授業や懇談会の充実を図る。
136年の歴史をもつ本校の伝統を継承する。
- ア 地域の願いを真摯に受け止め、学校を運営する。
- イ 本校の伝統を受け継ぎ、継承する。
山村留学の継続的運営へ協力する。
- ア 短期山村留学の継続的受け入れに協力する。
- イ 長期山村留学に積極的に協力する。

(3) 本校の教育目標

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成

めざす児童像

- ア **聡** さとく よく考え、勉強する子ども
- イ **美** うつくしく 心豊かで、明るい子ども
- ウ **逞** たくましく 健康で、たくましい子ども

めざす学校像

- ア 礼儀正しく、活気ある学校
- イ 学ぶ楽しさのある学校
- ウ 保護者、地域と共に創る学校

礼を正し、場を清め、時を守る

めざす教師像

- ア 毎日の授業を充実させる教師
- イ 教育愛と使命感に徹する教師
- ウ 保護者や地域に信頼される教師

めざす保護者像

- ア 子どもとともに学ぶ保護者
- イ 子どもと話をする保護者
- ウ 子どもを見守る保護者

めざす地域像

- ア いつも子どもを見守る地域
- イ 学校と共に子どもを育てる地域
- ウ 互いに励まし高める地域